

平成30年3月14日

朝陽同窓会事務局御中

(朝陽同窓会員著書関係ご担当様)

拝啓 いつもお世話になっております。また今年も桜の季節がめぐってまいりました。実家の墓が四谷三丁目交差点近くの笹寺にありますので、毎年墓参りのときには新宿駅南口から当時と同じ通学路を歩いて行きますが、なぜか母校の前では自然に青春時代の思い出が浮かんで来て懐かしさを感じます。

今般、「身近で見たマエストロ トスカニーニ」という音楽書が刊行されましたので、送らせていただきます。どうか寄贈の取り扱いを宜しくお願い申し上げます。第二次世界大戦前の時期にトスカニーニはヒトラーやムッソリーニに激しく抵抗した指揮者でしたので、来日することはありませんでした。日本ではあまり知られていない伝説の指揮者ですが、二十世紀前半まで世界の第一人者の位置にあったトスカニーニに関するエピソードを中心に書かれた音楽ファン向けの面白い書です。なお、本書の書評は信濃毎日新聞や月刊誌「音楽の友」2月号にも掲載されています。

一九六四年東京オリンピック開催直前の九月下旬に母校の学園祭があつて音楽部が歌劇「真間の手古奈」を公演いたしました。出演者(なぜか柔道部の私が出演者の一人でした)が東京芸大生の池辺晋一郎さんの指導を受けるために池辺先輩のご自宅を訪問したかすかな記憶が蘇ってまいりました。

敬具

新宿高校第17回卒業生 石坂 廬

